

新しいCB1100シリーズには、同じ熊本製作所の敷地内で営業、開発、製造部門が一体となって2014年から進めてきた、「お客様の喜びを最大化するために作り手の意識を変えること」を柱とする「抜本的ものづくり改革」の成果が存分に反映されています。今回のモデルチェンジを機に、従来からの機能面の品質熟成に加え、さらなる外観品質向上にも取り組みました。アルミパーツの仕上げなど質感に配慮するとともに、ネイキッドバイクの顔とも言えるフューエルタンクのフランジレス化による美しさ、さらに塗装品質の向上に取り組みました。量産にあたっては、生産現場が数十年にわたり洗練させてきた製造工程の見直しを必要とする技法にも踏み込んで「技術」と「技能」の融合を図りました。

その結果新しいCB1100シリーズは、より一層「温かみを感じる」「思わず手を触れたくなる」造りと仕上げにより「所有する喜び」を深められたと考えています。

新しいCB1100シリーズに触れたお客様が、ある時ふと細部の造りなどに気付き、より深い満足感を得ることがあれば、ものづくりに携わる者としてこれ以上の誇りはありません。

なお、日本市場向けには、特に日本のお客様から高い支持をいただいている、2010年以來の端正なデザインを持つオリジナルのCB1100も併せて継続販売します。新しいCB1100 EX、CB1100 RSと同仕様のエンジン、マフラーを採用することで環境対応とサウンドの質感を向上させました。

■CB1100 EX
(Type I)



■CB1100 RS

